



歯の健康と審美性を求めて

実施事業 CAD/CAMセンター設置による国内外からの受注拡大と雇用創出

宮本補綴研究所

企業情報

〒961-0101 福島県西白河郡中島村松崎字大池西 7-2 ☎ 0248-52-2004 FAX 0248-52-2004
<https://www.smileline-lab.jp> E-mail smilelinelab@yahoo.co.jp

事業者名 ▶ 代表 宮本 雅幸

設立年月 ▶ 1991 年 2 月 資本金額 ▶ — 従業員数 ▶ 3 人

会社概要

私たちは、歯科医療の一翼を担う歯科技工所として多様で高度なニーズへ応え、さまざまな補綴物を現場へ送り出しています。長い人生は山あり、谷あり。そんな深い意味も噛み締められる健康で丈夫な歯、口腔機能を叶えてあげたい、と願っています。歯は、患者様のQOLを支える大切な要素の一つです。噛み合わせ・審美性を向上させるため歯科医師の先生方と連携しながら、より先進的なノウハウの習得と実践に努めています。笑顔を引き出す小さな補綴物は当ラボの思い、技術の結晶です。



インターネットでの受注アップへ向けて

加工用 CAM 機と、高温焼結機の導入が切り札

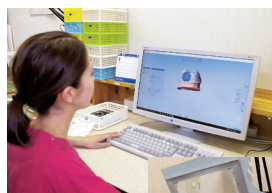


繊細かつ精密な技術を要する

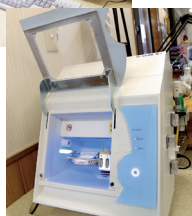
当ラボは新素材「ジルコニア」を用いた歯冠の設計・加工オーダーを承っています。生体との親和性に富み、人工関節にも用いられるセラミックとして注目されるジルコニア。その特性を活かす歯冠修復物は強くて軽く、自然なトーンの白さが高く評価されています。設計加工技術を発揮し、より審美性にも優れた歯科医療品として短納期で安定的に供給するには、歯冠設計データ (CAD) に基づいて加工機 (CAM) を正確に作動させ、成型する技術が必要とされました。しかし既存設備のままでは、CAM の微調整機能および高温焼結技術が欠けるため、設計データ通りの品質が保てませんでした。微細加工レベルが万全とは言い難く、手作業に時間を要してしまいました。こうした課題を解決するため導入したのが、CAM 機と高温焼結機です。

歯科医院との間で、オンラインデータを共有

CAD 加工は、切削スピードの調整がポイント



パソコン上で
歯冠を設計



歯科医療・技工の分野でも、デジタル化の進展が顕著です。

オンラインでデータを共有。口腔機能の再構築へ向け、患者様の症状に適した方法で初期治療の段階から 3D 技術や CAD/CAM 技術を活用すると、アナログ的な材料が要らなくなります。型取り材・石膏・ワックスなど塑性が不安定な材料に起因する汚れ、粉塵の発生が抑えられ、クリーンな環境のもとで歯冠の加工オーダーを受けて工程を進められます。

こうした環境を整え、新しく有効なノウハウの定着を図ることが、このたびの事業に於ける最大のポイントでした。造型⇒融解⇒鋳造⇒適合⇒研磨という一連の作業を歯科技工士が長時間にわたり、手技を駆使して行ってきたことに比べるとメリットは明らかです。

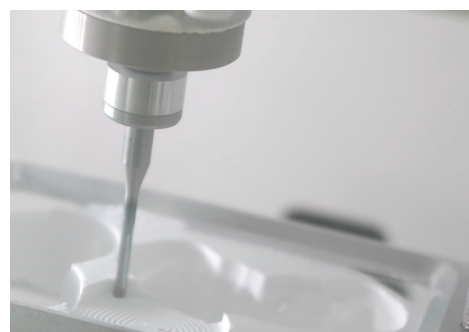
ジルコニアは、チョークのように柔らかく脆い物性を持ちます。歯冠設計のデータを CAM へ送って切削加工する際は、複雑な形状が的確に表れるよう微妙な速度調整を要しました。

0.1mm以下の切削加工精度が、安定的に可能

技術的な課題を解決、短納期プロセスも確かなものに

切削工程を経たジルコニアは、1200~1600℃の高温で焼結処理すると硬く、耐久性に優れた性質へと変化します。この工程では、重力が掛かった状態で 20% も収縮するため変形の恐れがあり、それぞれの症例に合わせて体積や温度差を考慮する必要があります。CAM 加工の際は、ジルコニアを削るドリルの太さ・設定速度、摩耗の程度をラボ内で一括管理できるので切削加工精度を確保するとともに、作業時間の短縮を図れます。

高温焼結処理を行う際は、素材の種類、焼結機の特徴を歯科技工士が把握して調整できます。適合作業の時間、カラーリングから仕上げまでの時間が、従来の約 70% まで短縮されました。技術的な課題の解決、内製化を通して 0.1mm以下という切削加工精度が安定的に可能です。



切削加工技術とスピードに優れている

ワンストップの運用メリットを追求しながら

国内外の臨床歯科医療への貢献を深めたい



患者様の笑顔のために…

かねてから保有している 3D スキャナー。このたびの事業で導入したのが CAM ソフトを含むミリングマシン CAD/CAM、ジルコニア用高温焼結機。これらが連動する体制が整い、ワンストップで一貫作業を進められるようになりました。コスト削減効果も表れており、ネット

受注を増やしていく際のセールスポイントに挙げられます。

より良い QOL のために口腔機能の維持・管理、修復へ向けた歯科医療の役割がクローズアップされています。臨床現場へ、ジルコニアを薦める説得力が高まりました。「できれば白い歯に…」と、治療の選択肢が増えていることにも市場性を感じます。地域の歯科医療への貢献に加え、当ラボは、ひろく国内外で認められる存在を目指しています。

Comment

やりがい
アピール
で、人材
の雇用と
育成も



歯科技工士 代表
宮本明由美 宮本雅幸

私たち歯科技工士もプロフェッショナルとして、その社会的役割や職業的アイデンティティを強く自覚しています。患者様の健やかな毎日を支えていく歯の噛み合わせ、さまざまな口腔機能、さらに審美的な要素について、お手伝いできることが何よりの喜びです。勉強を重ね、タイムリーな情報の発信と共有に努めること、歯科医院に直接出向き、患者さんとのコミュニケーションをとることを大切にしています。やりがい・誇りを持てる仕事の広がりやアピールしながら、人材の雇用と育成も図りたいですね。